



「真田丸」で活躍の2人が出演
NHK土曜スタジオパーク公開生放送収録
3月19日(土)

ゲストに俳優の草刈正雄さん、寺島進さんを迎え、利根沼田文化会館で公開生放送収録が行われました。2人はドラマの見所や撮影現場の様子を語ったほか、会場からの質問に答えるなどドラマの魅力やPR。また、会場では撮影現場で使用された衣装や小道具が展示され、来場者は「真田丸」の世界を堪能しました。

充実した備えのため
(株)ゼンリンと災害協定を締結
3月17日(木)

災害発生時の迅速な活動体制確保のため、住宅地図・広域図の貸与や地図複製の許諾などを盛り込んだ協定を(株)ゼンリンと結びました。同社は、2013年に横浜市と初の協定を結んで以来、全国各地の自治体と協力関係を築いてきましたが、県内での実績は本市が第1号となります。



歴史ある学びやに別れのとき
利根西小、利根東小、平川小閉校式
3月13日(日)、25日(金)

長年にわたり、子どもたちの良き学びやとして歴史を刻んだ3校が、児童数の減少などに伴い閉校を迎えました。今後、3校は利根小学校として統合され、仮校舎での生活を経て新設の校舎へ移動を予定。各校の伝統や誇り、子どもたちの想いが一つとなって、新たな歴史が始まります。



利根東小学校



平川小学校

YOROZU よろずとーく 106 TALK

沼須人形芝居「あけぼの座」
小松姫物語 小松姫役
田中 久子さん
(沼須町)
Hisako Tanaka

知人に誘われて始めた人形芝居ですが
今は演じるのも見るのも楽しいです



NHK大河ドラマ「真田丸」の放送決定を受けて書き下ろされた「小松姫物語」。物語は「天伏の別れ」「沼田城を守る」「正覚寺の供応」を太夫の語りと三味線で演じる。初上演で初代沼田城主信之の妻、小松姫を演じた田中さんが語ってくれた。

「小松姫は、信之の留守に敵となつた義父の沼田城への入城を拒んだ気丈さや、その陰で義父弟を正覚寺に招き温かく迎えた優しさを併せ持つ女性であったと聞いています。人形劇では、小松姫の、りりしさや優しさなどを考えて表現しています」

「家」の存亡をかけて父・兄弟が別れ、戦国乱世を生き抜いた



小松姫物語で人形を操る
田中さん

「人形芝居にはいろいろな筋書きがあつて、演じるのも見るのも楽しいですね。知人に誘われて入った「あけぼの座」ですが、今は生活の一つになっています」

そう話す田中さん。あけぼの座では小・中・高校生の後継者の育成にも力を入れている。

「毎年4月3日の砥石神社春祭りでも人形芝居を上演しています。今年も、子どもたちが「小松姫物語」を演じます。役者が変わればまた趣も違いますよ」

一人遣いの人形を操る市指定文化財の沼須人形芝居。今後は市内外での上演を予定している。

「実話に基づく物語なので、より多くの人に真田氏や小松姫のことを知ってもらいたいですね。そして興味を持った人が市内の史跡などを訪れ、さらに沼田が盛り上がりたうれしく思います」

真田氏。その苦悩の一端がこの物語から伺える。

「人形芝居にはいろいろな筋書きがあつて、演じるのも見るのも楽しいですね。知人に誘われて入った「あけぼの座」ですが、今は生活の一つになっています」

そう話す田中さん。あけぼの座では小・中・高校生の後継者の育成にも力を入れている。

消防団員紹介 No.10

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

昨年の5月から始まったこのコーナーですが、今回はあらためて消防団の活動を紹介します。

消防団員は自分の仕事を持ちながら、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神の下、市民の皆さんの生命や財産を守るため、火事をはじめとした災害時の出動のほか、各種訓練や水利の点検なども行っており、地域の安全・安心のために不可欠なものです。

今後とも、地域に根ざした活動を行う消防団へのご理解とご協力をお願いいたします。

市消防団では多くの入団希望者を募集しています。
問い合わせ 市消防団本部(防災対策課消防係内)☎内線3363へ



ポンプ操法



消防車両の点検・操作確認

ぬまたフオートちゃんぽん